

事業番号	15 07 07	事業改善シート (25年度実施事業分) <input type="checkbox"/> 予算要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	信州ふれあい自然体験キャンプ事業		担当課	部局 教育委員会事務局
総合5か年計画	プロジェクト	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 ◆すべての子どもの学びを保障する支援	課・室	文化財・生涯学習課
	施策の総合的展開		E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp
			実施期間	H25 ~

### 1 事業の概要

目指す姿	自然体験活動や不登校児童生徒支援に対応できる人材(信州自然体験活動サポーター)を育成するとともに、不登校児童生徒等に対して年3回のキャンプ(プレキャンプ・本キャンプ・フォローアップキャンプ)を実施することで、自然体験活動を通じた不登校の未然防止と不登校児童生徒支援の充実を図る。		
現状	小中学生の自然体験活動に対するニーズは高いものの、これまでキャンプの実施箇所等が限られていたためニーズに十分こたえられていない状況にある。また、キャンプ運営、不登校児童生徒支援に当たる専門性を持った人材の育成が課題となっている。		
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県が関与することで学校、青少年教育施設などとの連携が密になり、不登校児童生徒の支援を充実する。	
	県民との協働による実施：検討中		

事業内容	① 成果目標 (H25)				
	「信州自然体験活動サポーター」を50名養成するとともに、不登校児童生徒の参加割合30% (50名定員中15名程度)を目指す。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H25事業実績		
			H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
「自然体験活動及び不登校改善支援事業プログラムテキスト」の作成	直接委託	・テキストを作成し、市町村等へ配布	318	100	0
「信州自然体験活動サポーター」養成認定講習	直接委託	・信州ふれあい自然体験キャンプ運営などに関わる信州自然体験活動サポーターを14名養成	500	117	200
信州ふれあい自然体験キャンプ	直接委託	・本キャンプ(参加者50名)、プレキャンプ(参加者26名)の実施	3,166	2,303	3,509
合計			3,984	2,520	3,709

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	予算額			3,984	3,709
	当予算				
	補正予算				
	合計(A)	0	0	3,984	3,709
	国庫支出金			2,054	3,709
	Aの財源				
	県債				
	その他(諸収入)			1,930	
一般財源	0	0	0	0	
決算額(B)			2,520		
概算人件費			0.50	0.50	
職員数(人)					
概算人件費(C)	0	0	4,129	4,129	
概算事業費(B(A)+C)	0	0	6,649	7,838	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
不登校児童生徒のキャンプ参加率	0	30%	15%	未達成	40%

目標に対する成果の状況	一般児童生徒にとって人気のキャンプも、不登校児童生徒にとっては環境の大きく異なるキャンプへの参加はなかなかハードルが高いと思われる。また、南信(阿南少年自然の家)一カ所の開催であり、これも目標を下回った要因であると考えられる。今後周知の方法等を考え、1人でも多くの不登校児童生徒の参加者を集めたい。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	26年度は東信(望月少年自然の家)と南信(阿南少年自然の家)の2ヶ所で本事業を開催し、子ども達のいじめ・不登校の防止、不登校児童生徒の支援をより図る事業としたい。また自然体験活動や不登校児童生徒支援に対応できる人材(信州自然体験活動サポーター)育成にも力を入れ、サポーター養成講座のあり方を見直し充実を図り事業を進めていきたい。